

「モノ認識」と「モバイル」を中心に IoTで世界を変える

IoT × **AsReader**®  Digital Transformation

2022年8月期期末 決算説明会資料

株式会社 アスタリスク

証券コード：6522

2022年10月14日



◆本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。

◆別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

◆当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

第一部：第16期（2022年8月期）期末業績報告

- (1) 連結業績
- (2) セグメント別業績
- (3) 地域別業績
- (4) KPI
- (5) 株式関係
- (6) 研究開発施設 進捗報告

第二部：その他企業情報

- (1) 2023年8月期 業績予想
- (2) 資本業務提携（Architek社様、CANDY HOUSE JAPAN社様）
- (3) 直近のリリース情報
- (4) 直近の展示会出展予定
- (5) SNSを活用した認知度向上



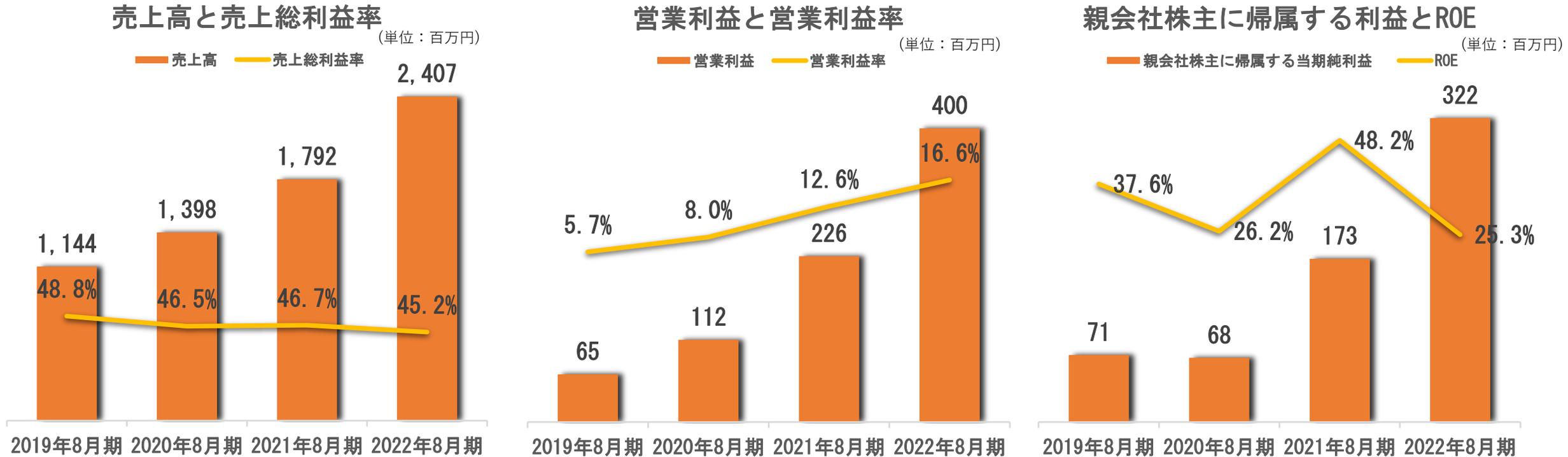
第一部：第16期（2022年8月期）期末業績報告



(1) 連結業績



【財務ハイライト】2021年9月～2022年8月



- 前期比 売上高 +34.3%の増収 営業利益 +76.6%の増益
- 売上総利益率は半導体等の部材調達の難化と為替相場（円安）の影響で▲1.5%
- 営業利益率は16.6%と前期12.6%から+4.0%の改善。企業目標である15%を達成
- ROEについては上場による自己資本増強による影響を受け、前期比で悪化

【損益状況】2022年8月通期

	2021年8月期 (前年実績)	2022年8月期 (当期実績)	(前年同期比)		(百万円)	
	金額	金額	増減額	増減率	金額	予想 達成率
売上高	1,792	2,407	614	34.3%	2,508	96.0%
売上総利益	837	1,087	249	29.8%	1,161	93.6%
売上総利益率	46.7%	45.2%				
営業利益	226	400	173	76.6%	387	103.2%
営業利益率	12.6%	16.6%				
親会社株主に帰属する 当期純利益	173	322	148	85.5%	260	123.9%
当期純利益率	9.7%	13.4%				
1株当たり 当期純利益(円)	33.96	46.82	12.86	37.86%		
人件費	295	314	18	6.2%		
減価償却費	41	18	▲ 22	—		
研究開発費	28	27	▲ 1	—		

(百万円)

(ご参考)
2021年10月14日発表
2022年8月期業績予想

■売上高

医療業界向け案件の遅延等があったものの、海外飲料メーカー向けの納品が2022年8月期中に完了したことや、RFID関連や防水ケースの特需に支えられ、前年同期比34.3%の増収となりました。

■売上総利益

円安による影響、システムインテグレーション事業の不採算案件の発生により売上原価が高騰することとなりましたが、前年同期比29.8%の増益となりました。

■営業利益

販売費及び一般管理費の未消化により想定よりもコストが少なく着地したことにより、前年同期比76.6%の増益となりました。

■親会社株主に帰属する当期純利益

為替差益を除き、営業外損益や特別損益項目は発生が無く、前年同期比85.5%の増益となりました。

■その他

・人件費
将来の成長に備えての人員増加によるものであります。

・研究開発費

画像認識技術関係の研究開発費の支出によるものであります。

※1株当たり当期純利益は2022年11月に実施した株式分割が2021年8月期の期首からあったものとみなして計算した結果を表示しております。

【損益状況】2022年8月四半期

(百万円)

	2021年8月期	2022年8月期				対第3四半期 増減率
	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	
売上高	324	732	641	448	585	30.4%
売上総利益	116	267	347	163	308	88.7%
売上総利益率	35.9%	36.5%	54.1%	36.4%	52.7%	—
営業利益	▲ 58	80	198	▲ 11	133	—
営業利益率	—	11.0%	30.9%	—	22.8%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 47	62	113	23	123	437.3%
当期純利益率	—	8.5%	17.7%	5.1%	21.2%	—

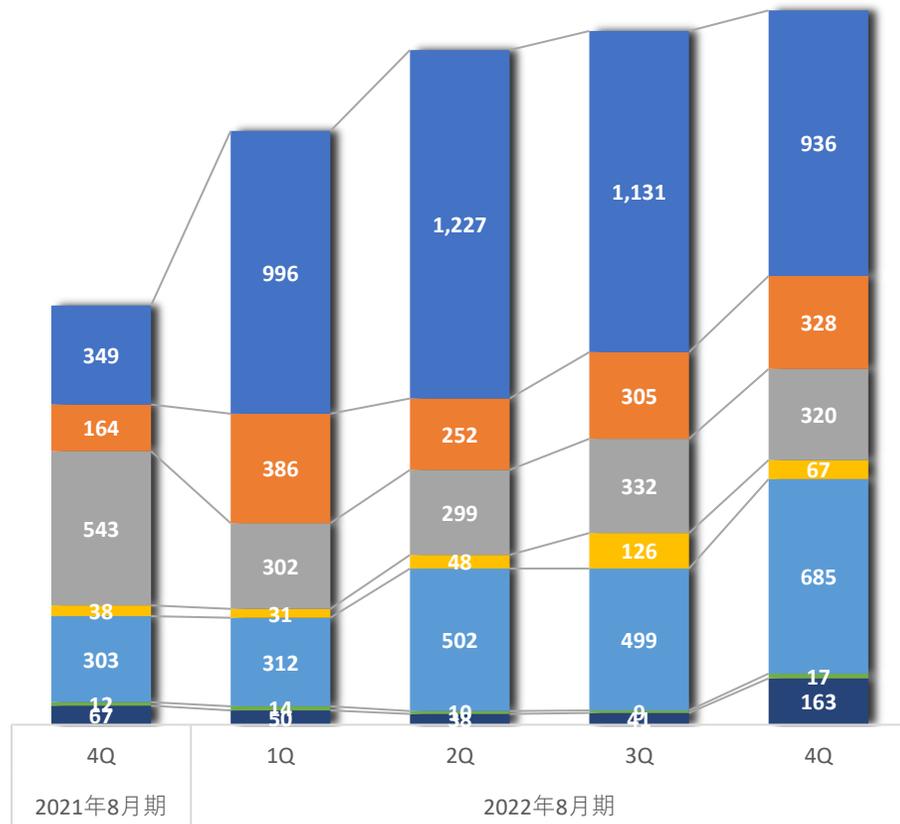
■ 四半期会計期間毎の損益状況

- ・ 当社の主力製品である各種リーダー類の収益認識基準が出荷基準であるため、四半期会計期間の出荷（案件）の有無により、四半期会計期間の売上高は大きく変動いたします。
- ・ 2022年8月期につきましては、医療業界向け案件の導入計画の変更に伴う当社における売上計上が2023年8月期以降に後ろ倒しとなる案件があった中、第2四半期にRFID関連製品や防水ケースの特需による好業績、第4四半期は計画水準の業績を残し、結果、売上及び売上総利益は業績予想をやや下回ったものの、営業利益以下は業績予想に近い数値での着地となりました。

【連結貸借対照表】2022年8月期

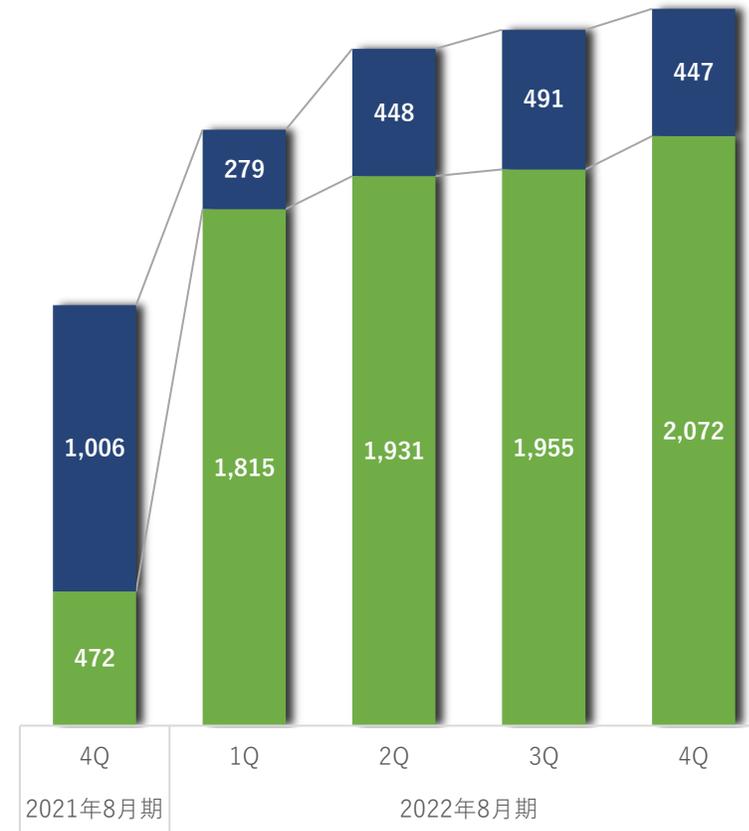
① 資産

(百万円)



② 負債及び純資産

(百万円)



【資産関係】

① 現金及び預金

2022年8月期1Qに東証マザーズへの上場に伴い増加しております。

② 有形固定資産

2022年8月期2Q以降、研究棟建設に係る建設仮勘定の計上と共に増加しております。

【負債及び純資産関係】

① 有利子負債（借入金関係）

2022年8月期1Qの東証マザーズへの上場日に、金融機関からの融資を全額返済したことにより負債が減少しております。

② 純資産

東証マザーズ上場時の調達資金及び当期純利益計上額について増加しております。

- 投資その他の資産
- 無形固定資産
- 有形固定資産
- その他流動資産
- 棚卸資産
- 売上債権及び契約資産
- 現金及び預金

【連結キャッシュ・フロー計算書】2022年8月期

	(百万円)			
	第13期	第14期	第15期	第16期
	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期	2022年8月期
営業キャッシュ・フロー	16	10	380	300
投資キャッシュ・フロー	▲ 35	▲ 56	▲ 303	▲ 518
財務キャッシュ・フロー	39	119	16	780
手許資金残高	174	247	348	936

①営業キャッシュ・フロー
前年同期比で80百万円減少しております。これは、2021年8月期までは繰越欠損金による税金支出が利益に対して減少されていたこと、また、2022年8月期4Qに計上された売上高が多くあり、当該代金回収が2023年8月期に行われることによるものであります。

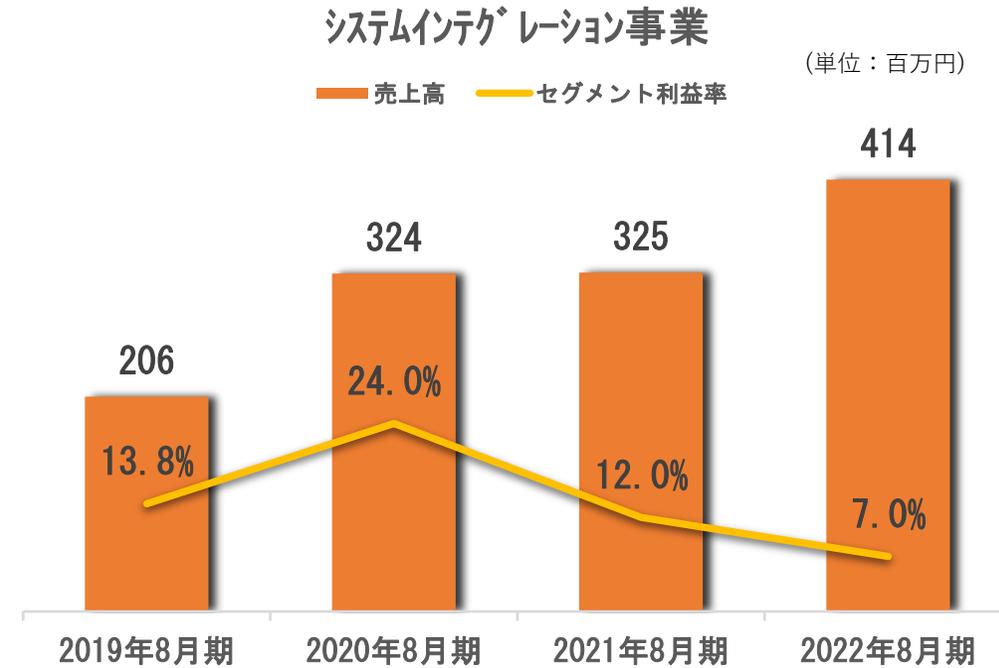
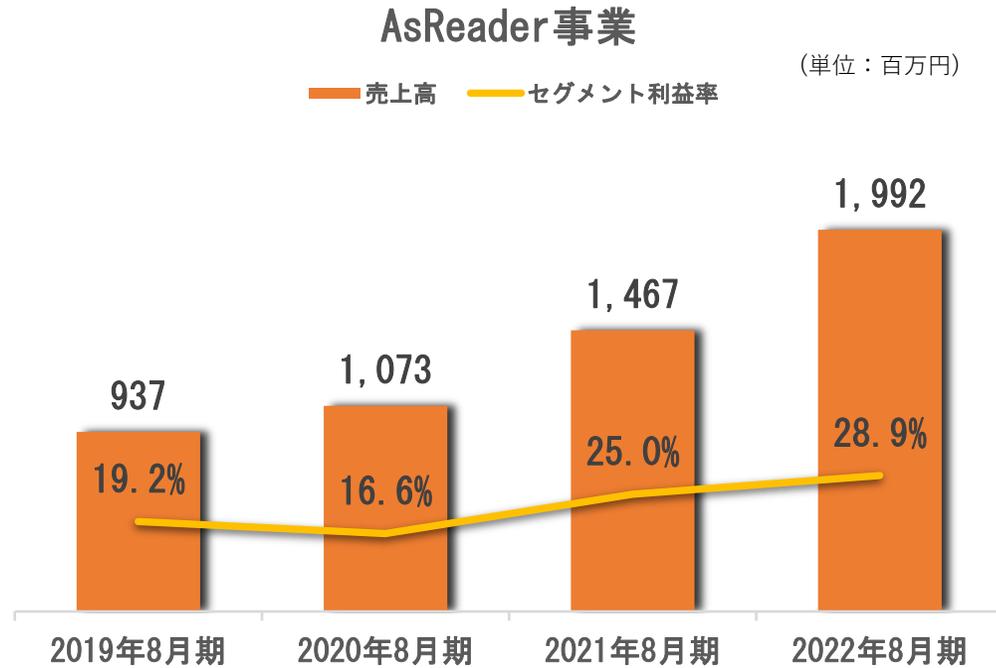
②投資キャッシュ・フロー
研究棟建設資金の支出395百万円、ArchiTek社との資本業務提携時の出資104百万円が主な内訳になります。

③財務キャッシュ・フロー
上場時の公募増資等及び従業員等の新株予約権行使時払込金による収入1,278百万円と、有利子負債返済支出498百万円によるものであります。

(2) セグメント別業績



【セグメント別業績】



■ AsReader事業

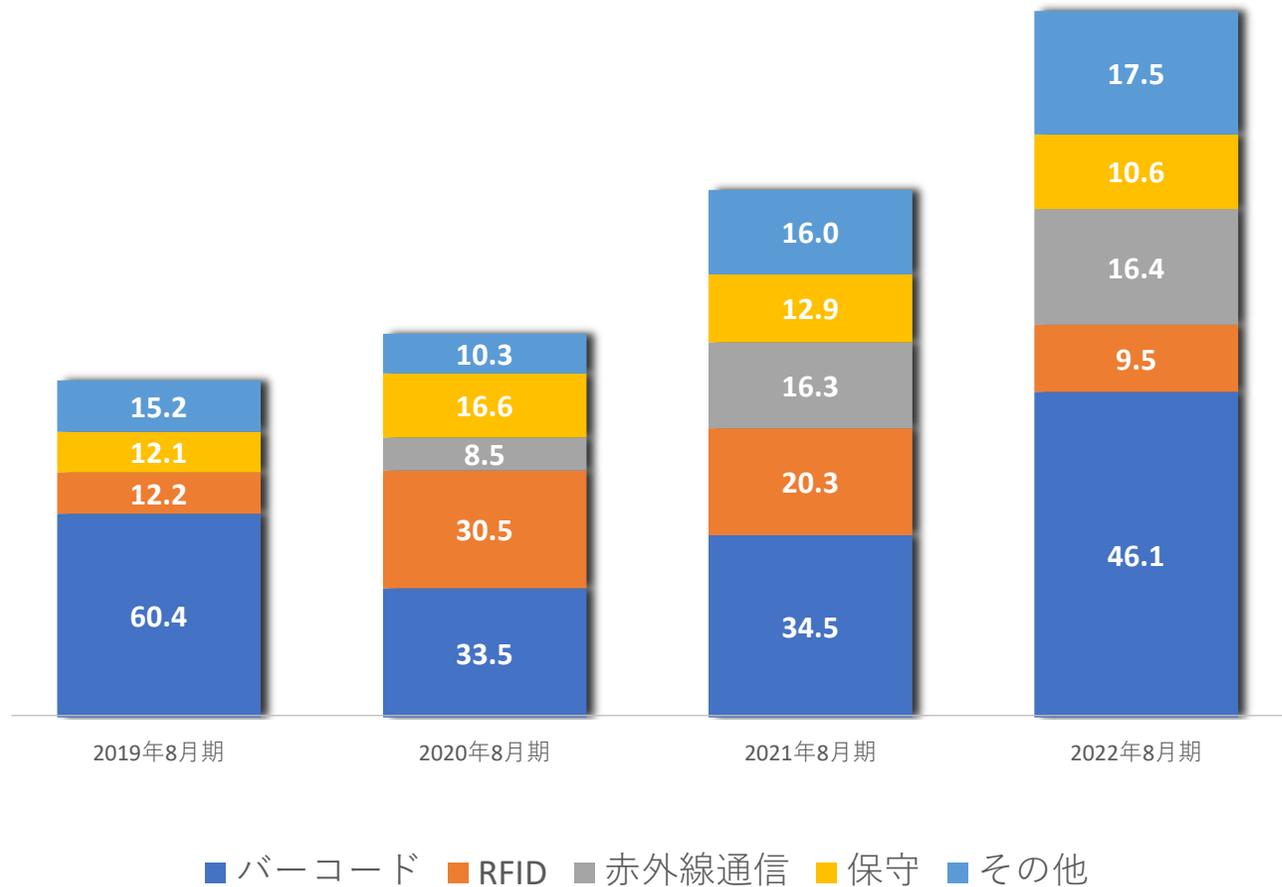
RFID関連製品や防水ケースの特需がありましたが、人員増加・営業体制強化、海外子会社（米国）の成長により、1年に獲得できる受注件数の増加、ひいては売上高が増加する傾向となっております。

■ システムインテグレーション事業

2022年8月期は売上高は増収となったものの、不採算案件の発生によりセグメント利益は減益、利益率も減少する結果となりました。

【製品種類別の販売構成推移】

(構成比率：%)



■製品種類別の販売構成推移

2022年8月期もバーコードリーダーの構成割合が多く、その次に自動販売機業界向けの赤外線通信リーダーが多くなっております。

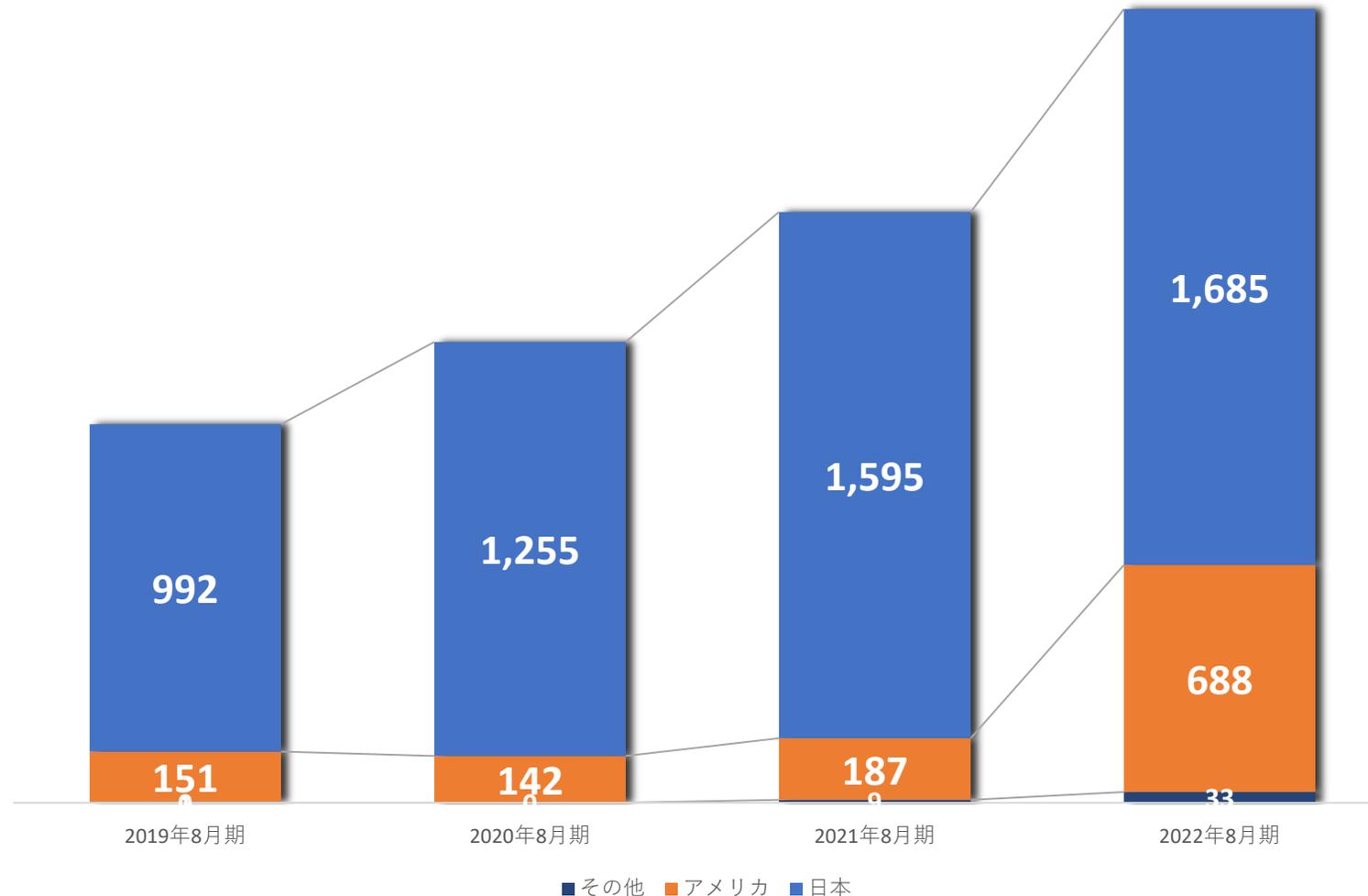
2023年8月期もバーコードリーダー、赤外線通信リーダーの販売割合が多くなるものと予想しております。

(3) 地域別業績



【地域別売上高】

(単位：百万円)



■ 日本

RFID関連製品・防水ケース特需案件が発生した反面、医療業界案件の導入開始遅延などにより、前年同期比5.6%の増収となりました。

■ アメリカ

世界的な半導体不足の影響で受注済製品の納品遅延が発生していましたが、2022年8月期中に海外大手飲料メーカー案件の納品が無事に完了し、前年同期比267.0%の増収となりました。

■ その他

欧州、中国での販売になります。

(4) KPI



(5) 株式関係



【大株主の状況】

株主名	2021年8月31日時点		2022年2月28日時点		2022年8月31日時点		備考
	持株数 (株)	持株比率 (%)	持株数 (株)	持株比率 (%)	持株数 (株)	持株比率 (%)	
トリプルウィン株式会社	800,000	62.50%	3,200,000	45.36%	3,200,000	45.35%	代表取締役 資産管理会社
伊藤忠紙パルプ株式会社	128,000	10.00%	512,000	7.26%	278,300	3.94%	資本業務提携
鈴木規之	35,000	2.73%	162,000	2.30%	162,000	2.29%	代表取締役
野村證券株式会社					122,200	1.73%	証券会社
熊本尚樹	25,000	1.95%	121,000	1.72%	121,000	1.71%	取締役
三菱UFJキャピタル5号 投資事業有限責任組合	30,000	2.34%	120,000	1.70%	120,000	1.70%	ベンチャーキャピタル
薛文宝	15,000	1.17%	60,000	0.85%	60,000	0.85%	執行役員
個人株主様	-	-	51,000	0.72%	51,000	0.72%	個人投資家
大川貴之	15,000	1.17%	41,000	0.58%	31,000	0.43%	従業員
株式会社SBI証券	-	-	47,836	0.68%	30,446	0.43%	証券会社
個人株主様	-	-	39,400	0.56%			個人投資家
DCIハイテク製造業成長支援 投資事業有限責任組合	81,800	6.39%	0	0.00%	0	0.00%	ベンチャーキャピタル
東京都ベンチャー企業成長支援 投資事業有限責任組合	68,200	5.33%	0	0.00%	0	0.00%	ベンチャーキャピタル
SMBCベンチャーキャピタル2号 投資事業有限責任組合	30,000	2.34%	0	0.00%	0	0.00%	ベンチャーキャピタル
SBIベンチャー企業成長支援3号 投資事業有限責任組合	15,824	1.24%	0	0.00%	0	0.00%	ベンチャーキャピタル
その他	36,176	2.83%	2,700,564	38.28%	2,879,454	40.81%	2021年8月31日現在 5名 2022年2月28日現在 6,845名 2022年8月31日現在 7,069名
合計	1,280,000	100.00%	7,054,800	100.00%	7,055,400	100.00%	-

■発行済株式数増加要因
・東証マザーズ上場に伴う増加
2021年9月30日に東証マザーズへの上場の際に、募集等により1,610,000株、新株予約権の権利行使に伴う新株発行により325,400株増加しております。
※株数は2021年11月実施の株式分割が期首に行われていたものと想定した増加数を記載しております。

■伊藤忠紙パルプ株式会社様の持株数の減少(233,700株)
当該売却によって当社との資本業務提携を解除するものではなく、残存株数は保有維持方針と聞いております。
引き続き、良きパートナーとして活動を実施してまいります。

【株価推移】



・ 上場日（2021年9月30日）から2022年8月31日までの株価推移を掲載しております。

・ 株式分割後の株価との整合性を保つため、株式分割前の株価については、株式分割をしていたものと仮定した株式数の調整を行っております。

・ 期間中の最高株価と最低株価は次のとおりです。
最高株価 5,917円
最低株価 1,190円

・ 更なるチャレンジを実施、長期にわたった業績を意識した経営を行い、市場から適正な評価をいただけるように活動を実施してまいります。

(6) 研究開発施設 建設進捗



2023年1月の完成に向けて進行しております。



第二部： その他企業情報



(1) 2023年8月期 業績予想



【通期業績予想】2023年8月期

	2022年8月期 (当期実績)	2023年8月期 (業績予想)	(百万円) (当期比)	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	2,407	2,906	498	20.7%
売上総利益	1,087	1,312	225	20.8%
売上総利益率	45.2%	45.2%		
営業利益	400	443	43	10.9%
営業利益率	16.6%	15.3%		
親会社株主に帰属する 当期純利益	322	314	▲8	▲2.5%
当期純利益率	13.4%	10.8%		

■売上高

2022年8月期はRFID関連や防水ケース関連の特需があり、2,407百万円の売上を計上いたしました。2023年8月期は、自動販売機業界、物流業界、小売業界、医療業界向けを軸とした販売活動を行い、20.7%の増収を計画しております。

■売上総利益

2022年8月期は円安による影響、システムインテグレーション事業の不採算案件の発生により売上原価が高騰することとなりました。2023年8月期は円安による原価高騰が予想されますが、システムインテグレーション事業の採算改善、アメリカの販売増加などにより売上総利益率の維持を行い、20.8%の増益を計画しております。

■営業利益

AsReader GoMAなど新製品の販売促進費と人件費の増加（ベースアップ、人員増加による）、新技術の研究開発費を見込んでおり、10.9%の増益を計画しております。

■親会社株主に帰属する当期純利益

2022年8月期は為替差益72百万円の影響もあり322百万円の当期純利益を計上することができました。2023年8月期はこのような営業外損益、特別損益の発生は計画時点では想定しておらず、2.5%の減益を計画しております。

【四半期業績予想】2023年8月

(百万円)

	2023年8月期 (業績予想)				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	364	691	740	1,109	2,906
売上総利益	115	290	338	568	1,312
売上総利益率	31.6%	42.1%	45.7%	51.2%	45.2%
営業利益	▲ 84	83	94	350	443
営業利益率	—	12.1%	12.7%	31.6%	15.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲ 57	63	67	241	314
当期純利益率	—	9.2%	9.1%	21.8%	10.8%

■四半期業績の変動について

当社グループの売上高はお客様への出荷時点等によること、また、ハード・システム販売が売上高の多くを占めることから、納品の有無により月次単位で大きく変動することとなります。このため、毎四半期毎に大きく業績が変動いたします。

■売上総利益率の変動について

2023年8月期は高い売上総利益率を見込む新製品販売が第3四半期の後半頃から売れ始める想定をしております。このため、第3四半期から第4四半期にかけて売上総利益率の改善を計画しております。

■営業利益率の変動について

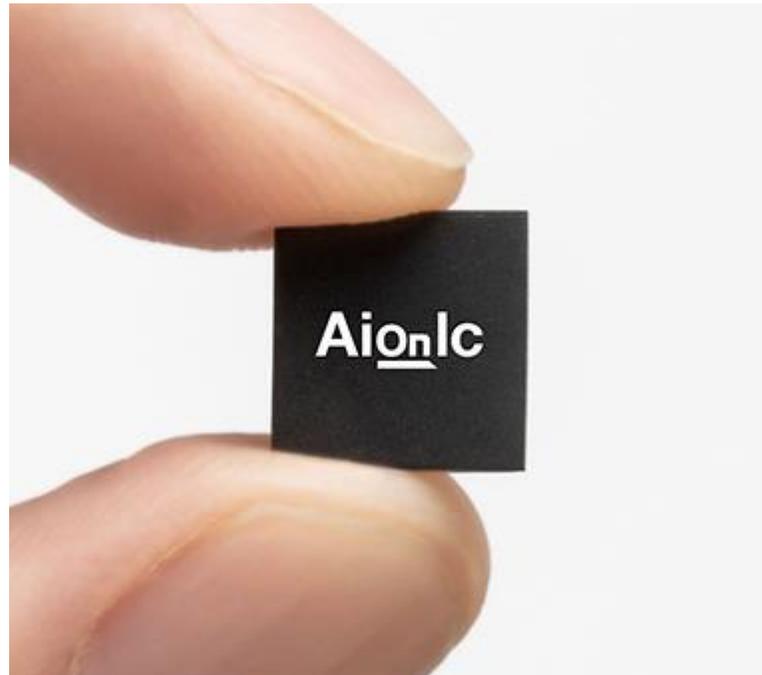
営業利益率の変動は、売上総利益率改善による変動となっております。

(2) 資本業務提携 (Architek社様、CANDY HOUSE JAPAN社様)



ArchiTek株式会社様と資本業務提携を締結

画像解析技術を活用した技術開発とソリューションの提供を加速させるため、2022年8月15日に「エッジAI & 画像処理プロセッサ」の論理回路開発およびソフトウェアを販売するArchiTek株式会社と資本業務提携契約を締結いたしました。



CANDY HOUSE JAPAN株式会社様と資本業務提携を締結

顔認証クラウドサービス「AsReader One」を活用した製品を開発し、企業や一般家庭に向けての販売を拡販させるため、2022年10月14日にスマートロック「SESAME（セサミ）」シリーズを展開するCANDY HOUSE JAPAN株式会社様と資本業務提携契約を締結いたしました。



AsReader GoMA (アズリーダー ゴマツ) を発表！

CANDY HOUSE JAPAN株式会社 スマートロック「SESAME」と、アスタリスクの顔認証システム「AsReader One」を組み合わせた、「顔で扉を開ける」ソリューション「AsReader GoMA」を発表いたしました。2023年1月からリリース予定です。



(3) 直近のリリース情報



【導入事例】株式会社ノーリツ様のインタビューページを公開

給湯機器、温水暖房機器などの住宅設備機器の製造販売を行う株式会社ノーリツ様で、物流センターでの各種パーツ配送業務において、それら業務のデジタル化と属人化解消を目的とした業務DX化を検討され、運動量の多い物流センター内での業務の妨げにならないハンディタイプの AsReader ASR-010D をご採用いただいた導入事例を発表いたしました。



国際物流展2022に出展しました！

物流業界のみなさまに「物流業務のスマート化」をご提案いたしました。開催期間中、多くの方に当社製品に触れていただくことができました。



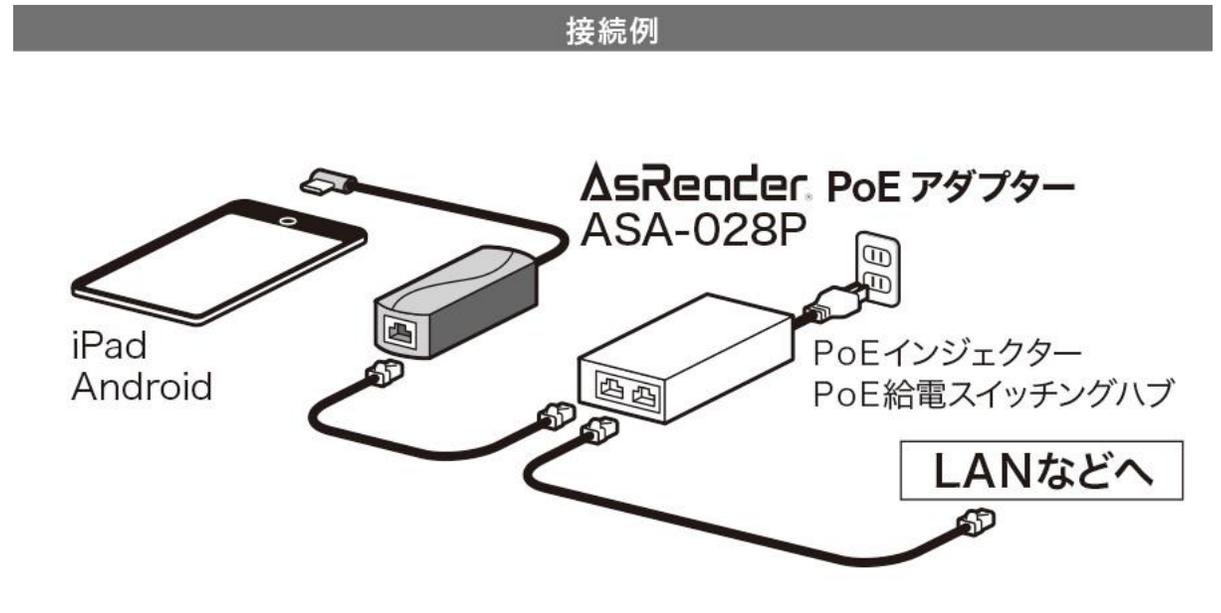
社員の給与平均3.4%のベースアップを実施！

優秀な人材の確保と社員のモチベーション向上を図り、お客さまへの更なるサービス向上に努めるため、ベースアップを実施いたしました。



PoEアダプターの販売を開始！

USB Type-C搭載のスマートデバイスへの給電と有線データ通信を可能にするPoEパススルー対応のアダプターの販売を開始いたします。



(4) 直近の展示会情報



2. (4)直近の展示会出展予定

【国内】

第7回 ジャパンビルド (東京ビッグサイト)

開催期間：2022年12月5日(月)～7日(水)

第7回 Japan IT Week 関西 (インテックス大阪)

開催期間：2023年1月18日(水)～20日(金)

リテールテックJAPAN 2023 (東京ビッグサイト)

開催期間：2023年2月28日(火)～3月3日(金)

第32回 Japan IT Week 春 (東京ビッグサイト)

開催期間：2023年4月5日(水)～7日(金)

【海外】

(アメリカ)

「NRF23」(アメリカ・ニューヨーク)

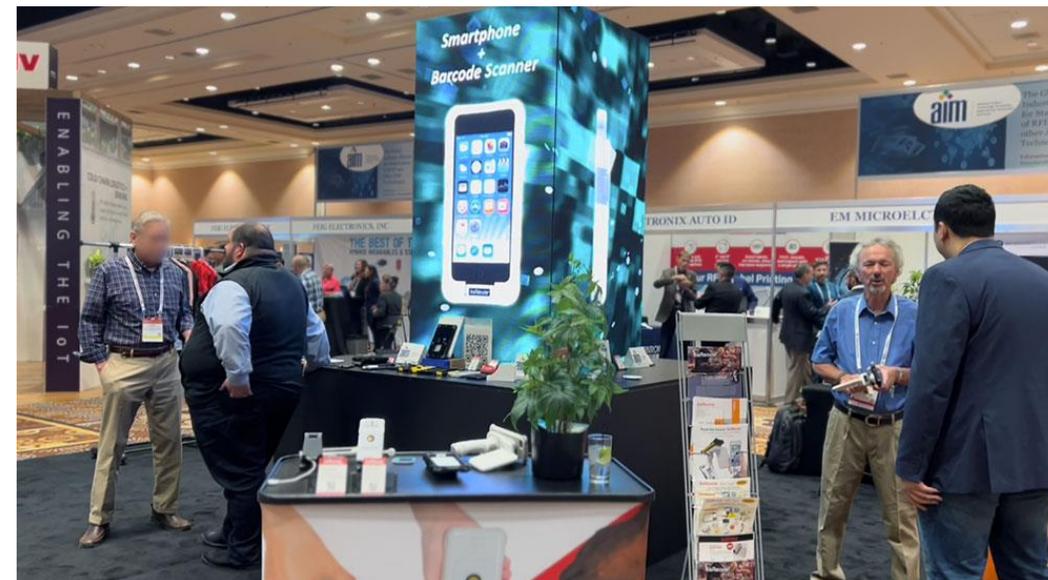
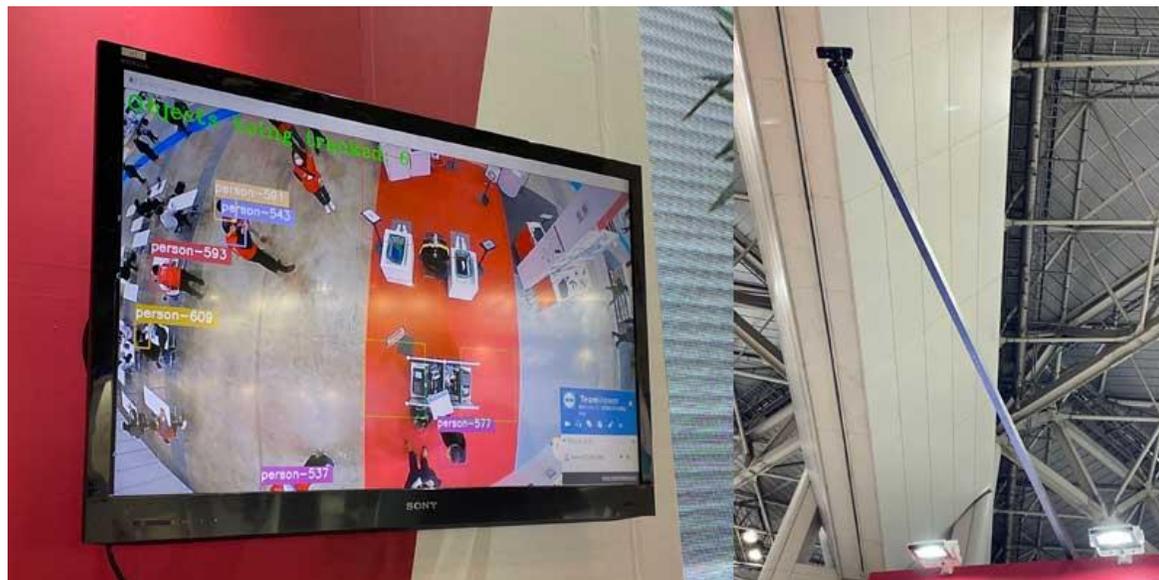
開催期間：2023年1月15日(日)～1月17日(火)

「HiMSS23」(アメリカ・シカゴ)

開催期間：2023年4月17日(月)～4月21日(金)

「RFIDJL23」(アメリカ・オーランド)

開催期間：2023年5月9日(火)～5月11日(木)



(5) SNSを活用した認知度向上



Instagramを活用した認知度向上

当社の技術やスマホの便利機能などの紹介を、Instagramで展開しております。



asterisk_smartphone [メッセージを送信](#) [フォローする](#)

投稿16件 フォロワー185人 フォロー中200人

スマホ活用のプロ | アスタリスク
コミュニティ
スマホ一つで日常生活が充実 🌈

- アプリ活用術
- スマホ豆知識
- ルーク・スズキウォーカーのつぶやき

【モノ認識】と【物流改革】を掲げるアスタリスクが
スマホで、あなたの生活のためになる📱情報をお届けします📱

いまよりもっと快適なスマホライフを👍🌟
#スマホ#アプリ#物流
[youtube.com/c/LukesroomLukeSuzukiwalker](https://www.youtube.com/c/LukesroomLukeSuzukiwalker)



チャンネル登録お願いします！

Luke Suzukiwalker

LUKE ルークの部屋 ROOM

ルークの部屋では、自動認識の騎士 ルークスズキ・ウォーカーが、
世の中の最新自動認識技術を活用したシステムや機器の数々を紹介していきます。

チャンネル登録お願いします。

 YouTube  チャンネル登録

【本資料へのご意見・ご質問】

本説明会資料に関するご意見・ご質問、及び、その他 I Rに関するご意見・ご質問は、「I R お問い合わせ」よりお問い合わせください。

【I R お問い合わせ】

(URL) https://www.asx.co.jp/ir/other_info/inquiry/

当資料は、株式会社アスタリスクのコーポレートサイトに掲載いたします。

(URL) <https://www.asx.co.jp/ir/library/presentations/>

【メールマガジン開始のお知らせ】

株式会社アスタリスクの決算情報、プレスリリース等の企業情報を配信するメールマガジンの配信を行っております。

配信希望の方は、【I R お問い合わせ】よりご連絡ください。

配信の停止も、【I R お問い合わせ】よりご連絡ください。

